



# いわてまち 社協だより

95号  
2019.9月

一方井保育所では、世代間交流として流しそうめんを楽しみました!



**編集と発行**

**社会福祉法人  
岩手町社会福祉協議会**

岩手町大字五日市10-51-1  
TEL.0195-62-3570 FAX.0195-62-1599  
●Eメール iwateow@eins.rnac.ne.jp

●ホームページ [http://iwatemachi\\_shakyo.org](http://iwatemachi_shakyo.org)

**目次**

- 社会福祉法人岩手町社会福祉協議会事業報告書及び収支計算書…………… 2~3
- 日本赤十字社会費のご報告…………… 4
- 生活福祉資金のご案内…………… 5
- 岩手町シルバー人材センターのご紹介…………… 6
- 赤い羽根共同募金のお知らせ・寄附金のご報告………… 7
- まちの福祉…………… 8

この広報誌は、共同募金配分金の一部をあてて発行しています。

# 平成30年度 社会福祉法人岩手町社会福祉協議会 事業報告書

## 社会福祉協議会の組織・財政基盤の強化

- 理事会  
6回開催
- 評議員会  
3回開催
- 各委員会  
総務委員会・事業運営委員会・広報委員会の開催
- 正副会長定例会議
- 保育所長会議
- 事務局職員会議

## 地域社会ネットワーク事業の実施

### ● 第38回社会福祉大会の開催

- 期 日 平成30年12月4日(火)
- 場 所 岩手広域交流センター プラザあい
- 参加者 約150名
- ・ 式典内容

- 表彰 社会福祉事業功労者 5名・1団体  
共同募金運動功労者 3名
- 特別表彰 1校
- 第26回岩手町福祉作文コンクール最優秀賞  
作品発表 4名

- ・ 講演  
演題 脳を5歳若返らせる  
健康イリユージョン

～記憶力、想像力、運動能力、  
元気をアップして毎日を楽しく～

講師 江刺家由貴(ユウキ)氏

## ● 広報活動

・ 社協だより発行

- 第90号 平成30年7月発行
- 第91号 平成30年10月発行
- 第92号 平成30年12月発行
- 第93号 平成31年3月発行

## 福祉教育の推進

### ● 第26回福祉作文コンクールの実施

応募総数 70点

最優秀賞5点・優秀賞5点・佳作23点

- キャップハンディ体験学習への協力
- 沼宮内小学校(4年生46名と保護者)
- 車いす体験・白杖体験

・ 川口中学校(3年A組26名)

防災学習・災害時の避難誘導サポート

・ 川口小学校(4年生22名)

車いす体験・白杖体験・白内障体験

## 居宅要援護者等へのサービスの充実

- 訪問介護サービスの実施
- 理美容サービスの実施
- 外出支援サービスの実施
- 集合型食事サービスの実施
- 日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)への協力

## 地域福祉活動

● 子育てサロン「すくすく」(毎月第4木曜日)

実績 延べ組数 69組 ボランティア 36名

● 敬老会の開催

期 日 平成30年9月16日(日)

参加者 75歳以上 289名中／

1326名 来賓他関係者291名

合計1617名

● 金婚慶祝会の開催

期 日 平成30年11月9日(金)

該当者 26組中／22組参加

● 地域ボランティア活動の支援

・ ボランティア育成補助金の助成(7団体)

・ ボランティア活動保険の助成(9団体 84名)

## 町立保育所運営受託事業の推進

● 保育事業

・ 川口保育所(定員90名)

・ 沼宮内保育所(定員60名)

・ 一方井保育所(定員45名)

・ 水堀保育所(定員30名)

● 岩手町子育て支援センター事業

(川口保育所併設)

● 川口学童保育クラブ事業(定員30名)

(川口保育所併設)



その他の取り組み

●生活福祉資金・助け合い金庫の活用及び更生援助

●各種募金活動への協力

●日本赤十字社会費募集

●社会を明るくする運動募金

●赤い羽根共同募金

●歳末たすけあい募金

## 法人単位資金収支計算書

(自) 平成 30 年 4 月 1 日 (至) 平成 31 年 3 月 31 日

(単位：円)

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異 (A) - (B)
事業活動による収支	収入			
	会費収入	4,253,000	3,704,600	548,400
	寄附金収入	1,000,000	681,487	318,513
	経常経費補助金収入	30,964,000	30,711,554	252,446
	受託金収入	8,322,000	6,548,960	1,773,040
	貸付金収入	100,000	166,000	△ 66,000
	事業収入	7,770,000	7,709,070	60,930
	負担金収入	500,000	490,000	10,000
	介護保険事業収入	15,560,000	10,608,061	4,951,939
	保育事業収入	256,492,000	223,672,183	32,819,817
	障害福祉サービス等事業収入	6,060,000	6,079,521	△ 19,521
	受取利息配当金収入	105,000	74,447	30,553
	その他の収入	4,906,000	4,588,470	317,530
	事業活動収入計	336,032,000	295,034,353	40,997,647
支出				
人件費支出	255,271,000	225,473,480	29,797,520	
事業費支出	46,368,000	41,476,804	4,891,196	
事務費支出	17,989,000	14,503,580	3,485,420	
共同募金配分金事業費支出	800,000	731,000	69,000	
助成金支出	6,508,000	5,240,400	1,267,600	
負担金支出	220,000	219,300	700	
その他の支出	4,826,000	4,533,100	292,900	
事業活動支出計	331,982,000	292,177,664	39,804,336	
事業活動資金収支差額	4,050,000	2,856,689	1,193,311	
施設整備等	収入			
	施設整備等収入計	0	0	0
	施設整備等支出計	0	0	0
施設整備等資金収支差額	0	0	0	
その他の活動	収入			
	その他の活動収入計	0	0	0
	支出			
長期貸付金支出	50,000	23,000	27,000	
その他の活動支出計	50,000	23,000	27,000	
その他の活動資金収支差額	△ 50,000	△ 23,000	△ 27,000	
予備費支出	4,000,000	0	4,000,000	
当期資金収支差額合計	0	2,833,689	△ 2,833,689	
前期末支払資金残高	41,470,153	44,817,221	△ 3,347,068	
当期末支払資金残高	41,470,153	47,650,910	△ 6,180,757	

# 日本赤十字社会費の納入にご協力ありがとうございました

赤十字運動月間：5月1日～5月31日

令和元年5月1日から1カ月間、日本赤十字社の会費募集を行いました。皆様の善意で下記によりたくさんの方の会費を納入していただきました。この会費は、日本赤十字社事業として、国際援護活動・災害救護活動・災害救援活動・医療事業・血液事業・青少年赤十字（JRC）などに役立てられています。万が一、皆様が被災された場合には救援物資の支給や見舞金を受けられる制度もあります。

## 一般会費及び法人会費納入状況

### ● 一般会費

(単位：円)

地区	金額	地区	金額	地区	金額	地区	金額
前ヶ沢	8,000	相寅瀬	8,500	駅前	12,000	下浮島	40,000
吉谷地	3,000	万部	10,000	犬袋	61,000	岩崎	15,500
御堂新田	7,500	落葉	3,500	子抱団地	7,500	沼袋	9,500
御堂	18,000	大平	4,000	細沢	21,000	子抱	10,000
水堀	15,500	五日市	112,500	太田	27,000	芦田内	17,000
小山沢	6,000	新町・城山	67,500	横田	46,500	野原	39,000
朽木林	10,000	民部田	63,500	半在家	8,500	雪浦	27,000
北上	3,000	柳橋	18,500	久保・落合	28,000	橋場	73,500
上横沢	11,000	館	56,500	新田	21,500	上町	18,500
下横沢	10,500	田中・栄小路	25,000	土川	27,500	駅通	57,000
尾呂部	29,500	上大町	16,500	大森	12,500	下町	18,500
川原木	26,000	下大町	34,000	一方井	52,500	山道	24,500
笈の口	10,000	上野口町	23,000	中田	17,500	境田・二ツ森	87,500
豊岡	15,000	下野口町	19,000	黒石	27,000	秋浦・高梨	17,000
大坊	42,000	上愛宕下	24,000	大股	5,500	土滝・雨滝	4,000
岩瀬張	18,000	新愛宕下	39,000	上黒内	11,000	子九十	7,500
曲り	4,000	下愛宕下	55,500	下黒内	22,500	大渡・遠中沢	12,500
一本柳	5,000	江刈内	26,000	葉木田	23,000	太布	6,500
白椏	7,500	石神	44,000	今松	26,000	水無	12,500
日の神子	8,500	上苗代沢	27,500	上鳴沢	25,500	丸泉寺	5,500
下屋敷・膝突・薬の木・上平	20,000	下苗代沢1	25,000	下鳴沢	16,000	穀蔵	2,500
小金沢・大金沢	8,000	下苗代沢2	22,500	上浮島	11,500	<b>一般会費合計</b>	<b>2,028,000</b>

### ● 法人会費

(単位：円)

事業所名	会費金額	事業所名	会費金額
佐渡医院	10,000	SWS 東日本(株) 岩手工場	5,000
北上脳神経外科クリニック	10,000	(株)高橋建設	5,000
(株)東光舎 岩手工場	5,000	(株)佐藤建設	10,000
(株)岩手銀行 沼宮内支店	3,000	特別養護老人ホーム あんずの里	30,000
(有)高橋商店	10,000	(有)外山商店	10,000
小豆嶋眼科クリニック	10,000	岩手罐詰(株) 岩手町工場	5,000
(株)介護いわて	5,000	新岩手農業協同組合 岩手支所	5,000
瀬川モーターズ(有)	10,000	(株)宮崎商店	10,000
(有)キロサ肉畜生産センター	3,000	医療法人 日新堂 介護老人福祉施設ケアホーム川口	10,000
(株)岩手トヨペット 沼宮内支店	500	<b>法人会費合計</b>	<b>156,500</b>

令和元年度日本赤十字社岩手町分区会費合計額

2,184,500円

## 生活福祉資金 貸付制度のご案内

### ●生活福祉資金貸付制度とは

他の貸付制度が利用できない、低所得世帯や障がい者世帯などの経済的自立と生活の安定を目指し、国と県が資金を出し合い、民生委員や市町村社会福祉協議会が窓口となって生活援助指導を基に無利子や低利子で資金貸付を行うものです。

### ●ご利用いただける世帯

- **低所得世帯**  
世帯の収入がおおむね市町村民税非課税程度。または生活保護法に基づく生活扶助基準の1.7倍程度
- **障がい者世帯**  
身体障がい者世帯、知的障がい者世帯、精神障がい者世帯
- **高齢者世帯**  
65歳以上の高齢者の属する世帯で、その世帯の所得が、おおむね生活扶助基準の2.3倍程度（高齢者を含む4人世帯でおおむね年収600万円程度）以下の世帯（注：福祉資金については、「日常生活上介護を必要とする状態」にあることが必要）
- **生活保護世帯**  
生活保護を受けている世帯

### ●利用にあたって…

- **連帯保証人（一部、連帯保証人なしで借りられる資金もございます）**  
原則として県内に居住する65歳以下の方で、借受世帯の償還困難時には債務を履行することができる方。  
日頃から熱心に相談援助してくれる方で、申込人よりも収入の多い方。

#### ● 利子・返済方法

貸付利子は「年1.5%」（一部、無利子の資金もございます）で、預貯金口座からの自動引き落としとなります。

償還期限内に償還完了できない場合は、残元金に「年5%」の延滞利子が発生します。

#### ● 民生委員児童委員

この資金は生活の安定や立て直しを図ることを目的としていますので、申込時から償還完了まで、担当の民生委員が支援、相談にあたります。

#### ● 注意

資金の種類によっては、利用できない世帯もございます。制度の詳しい内容については、社会福祉協議会まで問い合わせ下さい。

### ●貸付資金の種類

#### ● 総合支援資金

失業や収入の減少により、世帯の生活の維持ができなくなった等、生活の立て直しのための貸付資金です。

#### ● 福祉資金

福祉機器の購入や、商売・結婚・出産・葬儀・引越・住宅改修等の経費、または日常生活上一時的に必要な経費等お貸しするものです。

#### ● 緊急小口資金

緊急的かつ一時的に世帯の生計維持が困難となる場合の貸付資金です。

#### ● 教育支援資金

高校・大学・短大・専門学校等への就学に際し、入学金や制服等の就学経費と、授業料や通学定期代等の修学経費の貸付資金です。

#### ● 不動産担保型生活資金

今お住まいの居住用不動産を担保に生活資金をお貸しするものです。

生活福祉資金に関する  
相談・申し込み・問い合わせは…

岩手県社会福祉協議会  
TEL019-637-4440

または

岩手町社会福祉協議会  
TEL62-3570

所在地：岩手町大字五日市 10-51-1

ご存知ですか？

# 岩手町シルバー人材センター

## 主な作業内容の紹介

草刈作業



草取り作業



除雪作業



日曜大工作业



掃除作業



剪定作業



《岩手町シルバー人材センター》 TEL 0195-62-3570  
(岩手町社会福祉協議会内)

## 岩手町シルバー人材センターとは？

岩手町シルバー人材センターは、人手不足でお困りの方などの要請によって仕事をし、地域に貢献することを目的に活動している団体です。  
家の周りの草取りや畑の草刈、冬場の除雪など、長年のキャリアで培ったノウハウを活かしてきめ細やかにお手伝いをします。  
利用方法は下記をご確認下さい。

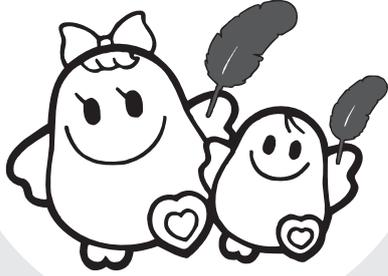
## 仕事を依頼したいときには…

- ① **まずはお電話で**  
気軽にお電話で連絡いただければ、職員が仕事の内容を聞き、話し合いの上で条件等を考慮し、依頼をお受けします。
- ② **仕事の請負**  
依頼を受けた仕事に合った会員を割り当てて、派遣します。
- ③ **利用料の請求**  
派遣をされた会員が就労カードを持参します。作業終了後、依頼者からカードに作業内容の確認と署名・捺印をいただきます。後日、利用料を計算し、郵送にて請求します。
- ④ **利用料の支払い**  
請求書と一緒に払込用紙が届きますので、金融機関に振込いただくか、来所のうえ現金でお支払いいただきます。

## 岩手町シルバー人材センター会員募集中！

岩手町シルバー人材センターでは、町内に居住している60歳以上の人で、自分の経験や技術を地域のために役に立ったり、働きながら生き生きくらしたいという方を募集しています。シルバー人材センターでの仕事を通じて働く仲間とふれあい、地域社会で活躍することは、あなたの生きがいづくりの一助になるものと思います。  
会員登録を希望される方は、岩手町シルバー人材センターまでお問い合わせください。

愛ちゃんと希望くん



©中央共同募金会

## 地域の福祉、みんなで参加。 赤い羽根共同募金

**あなたの募金が  
町の福祉を支えています。**

岩手町共同募金委員会（藤原徳明会長）では、今年も10月1日から赤い羽根共同募金と歳末たすけあい募金を展開します。今年度の目標は、481万円です。

共同募金は、町内で活動する福祉団体やボランティア団体、福祉推進校（町内小中高校）などの活動資金、歩行困難な高齢者や障がいのある方のため  
の外出支援サービスや理美容サービス、一人暮らし  
高齢者の集合型食事サービス（まんまと湯つこの  
会）、福祉大会、金婚慶祝会、社協だよりの発行など  
の地域福祉事業に役立てられています。

歳末たすけあい募金は、町内の要保護世帯や在宅  
寝たきり高齢者・重度障がい者等を対象に歳末たす  
けあい義援金として民生委員を通して配分されます。

岩手町では、行政連絡員に依頼し、各世帯共同募  
金900円と歳末たすけあい募金200円の合わせ  
て1100円を目安額として協力をお願いにお伺い  
します。その他町内の各学校や企業、病院、施設へ  
もご協力をお願いしております。

## ご寄附いただいた方の紹介

### 寄附者名・寄附団体名



- みちのくコカ・コーラボトリング(株)  
西根営業所 様…………… 697 円
- 全国気まぐれ會  
総会長 藤原 文男 様…………… 100,000 円
- 匿名 様…………… 14,452 円
- 今松老人クラブ 様…………… 10,575 円
- 岩手町郷土芸能団体連絡協議会  
会長 遠藤 一彦 様…………… 20,000 円

【令和元年 5月1日～令和元年 8月31日 受付分】

# まちの福祉

～福祉に関する情報コーナー～

## 岩手町老人クラブ スポーツ大会の開催

町老人クラブ連合会(田村進会長)では、令和元年7月3日、町総合グラウンドを会場に「令和元年度岩手町老人クラブスポーツ大会」を開催しました。  
当日は天候に恵まれ、選手の皆さんは日頃の練習の成果を十分に発揮し、競技を楽しんでいました。総合順位は、沼宮内チームが優勝となりました。



## 岩手県身体障害者 福祉大会会長表彰受賞

町身体障がい者協議会(久慈聖己会長)では、令和元年7月12日に行われた岩手県身体障害者福祉大会に参加し、岩手町では久慈聖己さんと松原美枝子さんが団体育成功労者として表彰されました。



## 岩手県ホームヘルパー協議会 会長表彰受賞

町社会福祉協議会(藤原徳明会長)では、令和元年6月13日に行われた岩手県ホームヘルパー協議会総会において、月山昌子さん、宮崎礼子さん、岩崎朝子さんが永年勤続表彰、齋藤啓子さんが永年勤続感謝状を受賞しました。



## まんまと湯っこの会

令和元年7月18日に町社会福祉協議会(藤原徳明会長)は、まんまと湯っこの会を開催しました。今回は町食生活改善推進員の皆さんのご協力により、塩分や栄養のバランスを考えた昼食を作っていただきました。参加者は食事をおいしくいただき、楽しんでいる様子でした。



## 親子でキャップハンディ体験

令和元年8月23日に町社会福祉協議会(藤原徳明会長)は、沼宮内小学校の4年生の親子を対象にキャップハンディ体験学習を行いました。今回は、車いす体験と白杖体験を行い、障がいを持つ方の体験を通じて、お互いに助け合おうという福祉の心について学びました。

